

日本で最も美しい村議会



鶴居村

# つるい 議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



よいしょ

## 6月定例会

力を合わせ大きな夢を

諸般・行政報告・・・P2～3

一般質問・・・P8～14

傍聴席から・・・P3

研修・視察・・・P16～17

議案審議・Q&A・・・P4～5

追跡レポート・・・P18～19

意見書・観光振興ビジョン・・・P6～7

住民の声・・・P20



the most beautiful  
villages  
in japan



# 6月定例会

平成25年6月定例会は6月8日に招集されて、会期を2日間とし議長より諸般報告、村長より行政報告があり、7名の議員より15件の通告があり一般質問が行われた。議案の審議については、一般議案20件と意見書2件がすべて可決承認されました。



私より諸般報告をします。

5月17日開催の釧路町村議会議長会5月定例会で、平成24年度歳入歳出決算と表彰規定に基づき15人が承認されました。次回8月定例会は弟子屈町の開催予定です。

次に、6月5日北海道町村議会議長会定期総会が札幌市にて開催され、提出課題と特別決議が承認されました。

5月31日、武藤清隆議員の辞任(5月17日)に伴う、委員会構成を決定しました。(下段参照)

## 釧路公立大学3月定例会

松井(洋)議員より、「平成25年度事務組合会計予算・「学長等の退職手当条例の改正」について、原案通り可決決定された報告がありました。



釧路公立大学正門

## 釧路北部消防事務組合

### 第1回臨時会

及川議員より、「平成24年度事務組合一般会計補正予算」について、原案通り可決決定された報告がありました。

# 新たな委員会構成

## 産業常任委員会

委員長	吉田 保博
副委員長	東 隆行
委員	及川 満浩
委員	大津 泰則
委員	松井 宏志

5月31日、武藤清隆議員(産業常任委員長)の辞職に伴い「産業常任委員会」・「議会運営委員会」の委員構成が変わりましたので、お知らせします。  
また、産業常任委員会が1名欠員となる事から、松井議長が総務常任委員会と兼ねることとなりました。

## 議会運営委員会

委員長	東 隆行
副委員長	佐藤 吉人
委員	及川 満浩
委員	松井 洋和
オブザーバー	
議長	松井 宏志
副議長	大津 泰則



1. 平成24年度の釧路根室広域地方税滞納整理機構が構成町村から引き受けた町村税、ならびに国民健康保険税の滞納分の総額は約3億5、340万円になりました。

機構の収納実績は前年度比1・17ポイントの増となりました。

本村の収納実績については、引継額約394万円のうち、徴収額が約209万円、徴収率52・9%、前年比26・1ポイントで前年を大きく上回る収納結果となりました。



3月定例会以降の行政報告をいたします

2. TPP交渉参加表明に関連する要請行動について、3月30日、釧路市内において釧路地方開発期成会・釧路地区農業協同組合長会による「TPP」協定に関する緊急要請会を開催し、地元選出の伊東良孝代議士に要請書を手渡ししました。

4月8日、同じく釧路市内で行われた自民党北海道連主催の「TPP」についての情勢報告会では、交渉参加への厳しい反対意見が出されました。

4月11日、上京して釧路管内町村長会・議会議長会・釧路地区農業協同組合長会による合同での「TPP交渉参加表明に対する緊急要請」を、政権与党の自民・公明両党に対して、要請行動を行いました。

## 傍聴席から



灰塚 玲子

私が鶴女連（鶴居村女性団体連絡協議会）の事務局になってから「行政を学ぶ学習会」の事業として議会傍聴を3回行なっています。

1回目は、平成20年6月定例会で10名の参加でした。前年度から議員定数減となりベテラン議員10名と日野浦前村長との質疑答弁でした。私は初めての傍聴でしたので緊張して聞いていました。

2回目は、平成23年6月で16名の参加がありました。この時は新人議員3名の新しい風が議会に吹くのか関心を持って傍聴しました。

そして、今回の定例会には26名の参加があり傍聴席は満員でした。

今回こんなに参加者が多かったのは、これからの鶴居村を牽引する大石村長に期待する感の表れではないかと思えます。

白熱した議論を拝聴して住み良い鶴居村にするためと感じられました。

これからも鶴居村の住民である喜びを持てるよう、議員の皆様のご活躍を期待しております。

鶴女連のみなさまありがとうございます



傍聴者総数 28名



# 6月定例会 議案審議

## (株)鶴居村振興後者の運営状況報告

損益計	科 目		金 額	
損	売 上 高	委託事業料売上	A	56,119,350
		公社運営売上	B	79,971,325
		指定管理料	C	24,320,000
益	売 上 原 価	期首棚卸高	D	3,733,985
		公社管理運営部門原価	E	120,832,858
		期末棚卸高	F	▲4,528,917
計	売上総利益((A+B+C)-(D+E+F))		G	40,372,749
	事業管理費	事業管理費H	H	23,716,134
算	営業利益(G-H)		I	16,656,615
	営業外収益	受取利息	J	63,337
		雑収入	K	2,027,943
書	営業外費用	退職給付引当金繰入損	L	▲3,833,015
	経常利益=税引前当期純利益(I+(J+K)-L)		M	22,580,910
	法人税住民税及事業税		N	5,857,800
	当期純利益(M-N)		O	16,723,110

### ◎平成24年度 事業経過報告

主要事業である指定管理業務の「パークゴルフ場」並びに「運動広場」部門の入込客数、収益は天候不順などの影響を受け前年より減少しました。「酪楽館」事業は新製品フレッシュチーズを発売するなど、チーズ販売は順調に推移し前年を上回り、「どさんこ牧場」業務は乗馬部門の利用客拡大に努め、前年を上回る結果となりました。

### ◎平成25年度 事業計画

お客様に喜んで利用していただける環境づくり、施設運営に細心の配慮をしながら取り組みます。

## ◆補 正 予 算

### ●平成25年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億7,553万3千円を追加し、総額34億6,153万3千円とする。

### ●平成25年度診療所特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ53万1千円を追加し、総額9,283万1千円とする。

### ●平成25年度介護保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ150万円を追加し、総額2億5,030万円とする。

## ◆選 任

### ●固定資産税評価審査委員会委員の選任

石脇征次郎氏、菱沼岩男氏が再任されました。(P 8 参照)

## ◆規 約 の 変 更

### ●北海道市町村総合事務組合同規約の変更

### ●北海道町村議会議員公務災害補償等組合同規約の変更

## ◆条例の制定と改正

### ●事務分掌条例の制定

### ●総合計画審議会条例の改正

### ●火入れに関する条例の改正

### ●廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

## 報 告

### ●平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書

鶴居小学校校舎改築工事費や公営住宅新築工事費など8億7,685万7千円を25年度に繰り越す報告です。



# 6月一般会計補正

## Question & Answer

**問** 今回の補正予算の中に本来、当初予算で提出されるべきものが含まれていると思われるのですが、補正予算の考え方を伺います。

**答** 当初予算成立後に不測の事態が発生した場合、補正予算を計上します。今回一部に当初予算の時期を逸した案件がありました。今後よく精査し慎重に取り扱います。

**問** 当初予算では、建設課に嘱託職員を置くはずでしたが、今回、総務課に配属になっているのはなぜですか。

**答** 新年度予算は12月末までに各課が作成します。その段階で建設課に嘱託職員が必要のため予算を計上しました。その後、2月上旬までに予算査定を行い、当初予算を作成します。3月上旬になり、新規採用職員を含めた人事異動の検討を行った結果、建設課には正職員を配置し、総務課に不足が生じたため嘱託職員を配置することになりました。

**問** 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金として1373万円計上されています。これは今後3年間、エゾシカなどを捕獲したハンターに奨励金の上乗せが予算措置されたものですが、この制度の周知は十分に行われていますか。

**答** 3月に猟友会のメンバーを対象に説明会を行い、その後、様々な質問に対応しながら周知に努めています。

**問** エゾシカの駆除目標は2700頭となっています。本村の被害額は年間約2億円と試算されていますが、どのくらい削減されますか。

**答** 被害額の削減の試算はしていません。

**問** 運動広場開設30周年記念イベント運営企画として85万円が計上されています。指定管理者である振興公社が支出すべき費用ではないのですか。

**答** このイベントは8月に一週間、運動広場の遊具利用券を半額にし、広告宣伝をします。指定管理費に予



多くの人に愛されて 30周年

**問** つるい婚活サポート事業94万5千円が計上されました。今回の内容を伺います。

**答** 前回の参加者の意見を反映しながら検討しました。村内での開催とし、一泊二日の2日間では日程の都合がつかないという意見もあり、今回は1日日程を予定しています。男女それぞれ15名を募集しますが、村内女性の参加や女性の募集範囲についても検討したいと思っています。

**問** 消防救急デジタル無線整備費釧路北部消防組合負担金1億500万円のメリツトを伺います。

**答** 現在のアナログ式だと市販の無線機で傍受することができませんが、今回のデジタル式では傍受することができないため個人情報情報が漏洩防止ができます。また、災害時などの有事には携帯電話が混雑し通信できない状況になります。有事に消防体制を構築するためには必要な整備となります。

**問** 下幌呂地区宅地造成基本計画策定委託3千万円は、夢の杜団地の第4期の計画ですか。

**答** 今回の計画は下幌呂小学校に隣接する6haの村有地の全体計画と、その中の1.5haの宅地造成計画を行うもので、夢の杜団地とは異なる計画となります。地域住民の意見を取り入れながら進めます。



## 採択された

意

見

書

## ●札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書

今般、国土交通省が札幌航空交通管制部のような重要な機関を、道内に代替機関を残すことなく廃止に向けて検討していることは、北国における気象特性を実感できない国土交通省職員を増やすことにつながるばかりか、新千歳空港においても管制業務を担当する防衛省職員に接する機会が失われることにもなり、航空機の安全にとって決してプラスにはならないと考える。また、将来国土交通省職員を目指そうとする道内出身者にとっても、札幌圏に勤務先がなければその道を諦めるという選択をすることが十分考えられることから、雇用面において大きな損失となる可能性も出てくる。

道民の安全・安心な航空交通を確保するためには、札幌航空交通管制部の存続・充実が必要であることから、下記の事項について実現するよう強く要望する。

1. 北海道での航空行政の枠組みを堅持し、札幌航空交通管制部を存続させること。
2. 広大な北海道の航空行政を充実させるために、国の出先機関である札幌航空交通管制部を充実させること。

## 5月臨時会

5月臨時会が5月31日(金)に開催されました。

## ●職員管理職手当支給条例の改正

## ●税条例と国保税条例の改正

## ●平成24年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億351万1千円を追加し、総額48億3,689万5千円とする。

## ●工事請負契約の締結

鶴居A団地公営住宅建築主体工事（指名競争入札）

契約の金額 7,560万円

契約の相手方 株式会社 山口工務店（鶴居村）

## 臨時会

## Q &amp; A

**問** 生活保護世帯での村税滞納分の取り扱いについて伺います。

**答** 生活保護の申請を受けた時点から課税はしていません。申請前の滞納分は個々のケースに対応しています。

**問** 国民健康保険から後期高齢者制度に75歳で移行する際に、急な負担増を抑える目的で5年間の軽減措置がなされています。今回、さらに3年間延長されますが、その内容を伺います。

**答** 国民健康保険税・後期高齢者支援助金等課税額の平等割額が5年間は50%の軽減となつています。今回延長部分の3年間は25%の軽減となります。

**問** 現在の公営住宅・村有住宅の入居状況を伺います。

**答** 現在137戸管理していますが、空室はありません。

ん。数名から入居の問い合わせがある状況なので、今後の建設計画も含め十分検討していきます。

**問** 今回、公営住宅の工事が発注されました。3月末に国が労務単価の引き上げを行いました。それに対応していますか。

**答** 新しい労務単価です。**問** 工事金額には労働者の法定福利費も含まれていますが、社会保険に加入しているかどうかの確認を入札時にしていますか。

**答** 確認はしていませんが、今後、前向きに検討します。**問** 今後も「みなくる」や「酪楽館」があるエリアに公営住宅エリアを予定していますか。

**答** 現在、その予定はありません。



理想論ではない

実現可能な

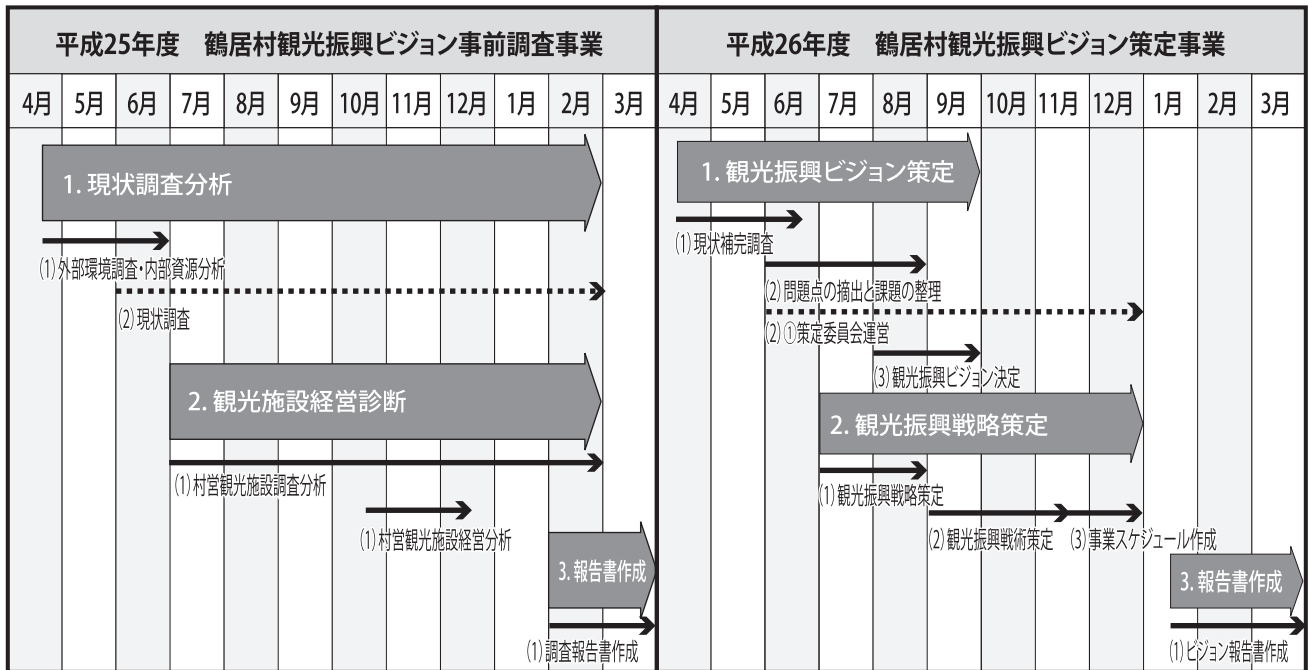
# 鶴居村振興戦略

# 観光振興ビジョン

## 【目的】

本事業は、鶴居村の観光振興における将来構想を策定し、鶴居村の優れた観光資源の活用を主軸とした地域振興策を明確化して推進し、鶴居村の魅力を最大限活かすことを目的として行います。

今まで明らかになっていなかった観光施設利用状況など、必要となる現状調査および分析を重点的に行い、観光振興ビジョン策定のための基礎資料とし、理想論ではなく、実現可能な観光施策を行うための観光振興ビジョン策定を行います。



### 1、現状分析

- (1) 外部環境調査・内部資源分析
- (2) 現状調査

### 2、村営観光施設調査分析

- (1) 村営観光施設利用状況調査
- (2) 村営観光施設経営分析

### 3、観光振興ビジョン事前調査報告書作成

- (1) 観光振興ビジョン事前調査報告書作成

### 1、観光振興ビジョン策定

- (1) 現状補完調査
- (2) 問題点の抽出と課題の整理
- (3) 観光振興ビジョン決定

### 2、観光振興戦略策定

- (1) 観光振興戦略策定
- (2) 観光振興戦術策定
- (3) 事業スケジュール作成

### 3、観光振興ビジョン報告書作成

- (1) 観光振興ビジョン報告書作成
- (2) 観光振興ビジョン報告書概要版作成

# 美しい村づくりの第一歩



# 一般質問

## あなたの声を村政に

各議員が住民の代表として、村の考え方や新規政策を提言する議員活動。

高齢者が住み良い住環境づくりは？

次年度策定の各計画に高齢者の意見を反映！



松井広議員

鶴居村の今後向かって行く高齢化社会に対して、優しく安全で、安心な環境が必要ではないでしょうか。

村に居住する老人世帯(1〜2人)が多くあります。その老人世帯を集合住宅に入居していただき、その環境に適したオール電化、バリアフリー、緊急通報システムの安否確認、孤独感のない環境、ヘルパーによる生活支援の効率化など、医師も近く、交通の便も良く、安心して暮らせる住居を提供し、住み良い村づくりを

目指してはいかがか伺います。

大石村長

鶴居村の高齢化率は5月現在、ほぼ27%です。また22年度に公営住宅以外の高齢者世帯を調査したところ、単身者あるいは世帯全員が70歳以上の世帯数は102世帯でした。

現在、老人福祉住宅を1棟5戸、独居老人住宅を1棟6戸を整備しています。いずれも単身者が対象です。高齢者世帯の方には、バリアフリー、オール電化などの高齢者に配慮した公営住宅を14棟56戸整備しています。来年度までに16棟68戸にする予定です。今後の整備は、来年度実施する27年度からの第6期



整備が進む高齢者住宅

鶴居村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の日常生活圏ニーズ調査の中で、高齢者の意見を十分把握し、今後の村の高齢者福祉の施策に反映させていきます。

### 固定資産税評価審査委員会委員



石脇征次郎 氏 (再任)  
任期3年  
平成25年6月22日～平成28年6月21日  
昭和16年10月6日生 (71歳)  
鶴居村字幌呂北1線26番地  
全員賛成



菱沼 岩男 氏 (再任)  
任期3年  
平成25年6月22日～平成28年6月21日  
昭和25年12月6日生 (62歳)  
鶴居村字久著呂原野北38線東11番21  
全員賛成



### 福祉有償運送事業の対応は？

#### 福祉の最重要課題と考え調査研究！



見解を伺います。

大石村長

佐藤議員  
平成24年3月鶴居村社会福祉協議会が発行した第4期地域福祉実践計画書に、

村内3ヶ所で開催された住民懇談会の高齢者分野・意見集約の中に「将来一人暮らしになったとき、病院・買い物などが不安である」や「老後の通院・買い物など交通手段が不便で、とくに運転できなくなった時が困る」という意見がたいへん多く出されています。そこで、福祉有償運送について提案します。現行の制度との比較なども交えて、



待ち望まれる有償運送事業

鶴居村社会福祉協議会では平成27年度実施予定と計画書に記載されていて、実施の際には鶴居村にも財政的な支援の要請があると考えています。

村としても、高齢化社会など的確に対応し、高齢者が安心して老後を迎えられることを福祉の最重要課題と考えて十分な調査研究のうえ、対応したいと考えています。

### 村政懇談会の開催方法の検討結果は？

#### 各団体と協議し詳細を詰める！

佐藤議員

平成23年12月定例会の自問で、「住民↓地区役員会↓役場↓懇談会質問↓

担当課長が会場へ回答」という儀式的なスタイルは改善すべきではと当時の日野浦村長に質問しました。「参加者の減少や女性参加の少ないのは現実なので懇談会のあり方などの中で検討します」とのことでした。検討結果を伺います。

大石村長

村政懇談会は、村民の皆様から、その時々々の村政全般に対するご要望を聞かせていただく貴重な機会であり、直接会って話し合う場を設けることが重要と考えるので引き続き開催します。

### 大石村長

夜間や休日の開催は会社員の多い鶴居市街・中雪裡・下幌呂地区で地元自治会と協議したいと考えています。女性については鶴居村女性団体連絡協議会や所管部署を通じて村政に反映させるべきではないかと考えています。

### タンチョウの食害対策は？

#### 本年度試験的に対策を実施し、結果を分析し次年度へ検討！

佐藤議員

各酪農家さんが、自給飼料の増加を目指して、地温上昇を促進するマルチ農法でデントコーン作業を終えると、タンチョウの幼鳥たちがまいたばかりのコーンをつつきに来ます。野生動物の保護と共存共生はとても難しいことですが、村の見解を伺います。



有効な対策を

本年度、試験的に下久著呂地区で5月下旬から6月中旬まで1日5時間タンチョウ追い払い業務を村と対象農家が共同で実施しました。その結果を分析して、次年度、村野生鳥獣被害対策協議会で検討を行っていきま

す。

今後はタンチョウの食害が鶴居村のみの問題ではないことを関係機関に働きかけます。



地域エネルギー活用調査の結果は？

木質バイオマス利用を重点的に調査研究！



大石村長

秋里議員

村は昨年度役場庁舎・総合センターなどの公共施設の暖房に、再生可能なエネルギーの活用に関する調査研究を、専門機関である岩手県の(株)アトム環境工学に、372万7500円の予算で委託されました。

調査期間も終了したので、その調査研究の結果はどのような内容となったのか。また村としては、どのような対応を今後していくのか、村長の考えを伺います。

と判断しました。

また、民有林所有者や森林組合などとの組織作りの上で、間伐材などを利用した「薪ボイラー」による施設整備の提案もいただきました。

今回村が実施した、「地域エネルギー活用調査研究委託業務」は、役場庁舎と総合センターの暖房設備が、老朽化により使用管理に支障をきたし、今後の設備更新に係る経費や維持管理のコストダウン・環境対策などのための調査を委託し、地域資源を有効に活用した、再生可能エネルギー利用の最適な設備の導入を検証したものです。

調査に基づき、家畜糞尿バイオマス利用、温泉排熱利用、太陽光発電利用、木質バイオマス利用などが提案され、その中で豊富な森林資源を有する地域環境に着目し、木質バイオマス利用が最も有効な手段である

今後の村の対応は、この

「木質バイオマス利用」を重点的に、今後あらゆる可能性を模索し、新規エネルギー事業の展開が、最も効果的で有効な手段として実現可能か、調査、検討を図っていききたい。

また、補正予算にて、「薪ボイラー」を使用した、先進地視察に係る関連予算を計上しました。

更に、この調査結果については、村広報誌を通じ、広く村民に周知する予定です。



議会も木質バイオの調査

成人用肺炎球菌ワクチンへの助成は？

国の動向をみながら検討したい！

秋里議員

大石村長

肺炎は死因の第4位にランクされ、特に肺炎球菌による成人肺炎が多く、中でも高齢者での重篤化が問題になっていきます。

肺炎は、ワクチンを接種することで重症化を防げると言われています。釧路管内では厚岸町が70歳以上を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用の半額助成に取り組んでいます。

ワクチン接種効果は5年間ほど期待できるとされていますが、高額な接種費用が理由で、本村も接種率は低いと言われています。

そこで、本村も高齢者の肺炎球菌の感染予防や医療費削減のため、費用の助成ができないか伺います。

肺炎球菌ワクチンの助成状況ですが、北海道では平成23年4月現在、51市町村が助成をされていて、釧路管内では厚岸町と今年度から標茶町も一部助成を行っています。

また、鶴居村の65歳以上の接種率は11・5%で全国と同様な状況です。

国の予防接種・ワクチン分科会では、成人用肺炎球菌ワクチンを含む4ワクチンについて25年度末に定期接種化に向けての結論を得るよう努める附帯決議が出ていることから、今後の動向をみながら検討をしたい。

## 女性の活動について？

## 女性活動の更なる充実・発展を！



## 松井洋議員

教育委員会は生涯学習活動として、子どもから大人まで幅広い層にとっても充実した取り組みを行っています。

その中で、女性の活動について現在、どのような取り組みを行っているのか、また近年、青年活動が全国的に衰退傾向にあるなか、地域を支えていくために女性の活動がますます重要になってくると思うのですが、今後についての教育長の考えを伺います。

## 国安教育長

本村の女性活動の中心は、村内12の団体が加盟し、会員数が102名の「鶴居村女性団体連絡協議会」の存在と役割です。

「行政を学ぶ学習会」や、今年で49回を迎える「女性の集い」を開催するなど、充実した活動を行っています。

教育委員会としては、本村の女性活動の更なる充実・発展のため、今後も財政支援にとどまらず、出来る限りの支援・協力を継続実施したいと考えています。

特に「鶴女連」が計画している事業が円滑に、確実に実施され、会員一人ひとりにとって有益なものとなるように、教育委員会全体で活動全般を全面的に支え

ていきたいと考えています。



行政を学ぶ学習会

## 新しい防雪柵について？

## 村としての立場 住民のニーズをしっかりと伝えていきます！

## 松井洋議員

道道53号線の役場から鉾路に向かうとすぐ右側に新しい防雪柵が設置されました。見た目にも高機能さがあるか、冬道の安全確保に心強さを感じます。

また一方では、春から秋にかけて車窓から見える鶴居村ならではの景観をささぎっています。

冬道の安全確保は生命にかかわることも重要なことであり、そもそもこの防雪



イベントにも積極参加

柵は道の管轄なのですが、「美しい村連合」に加盟し、「観光振興ビジョン」を策定中の本村では、車窓からの景観もとても重要な観光資源だと思えます。今後の防雪柵の延長計画も含め、経緯について伺います。

## 大石村長

防雪柵の設置には、現地での雪況調査、気象調査を2年間にわたり行ったところ、道路に対し平行に近い北風による突風が吹く非常に危

険度が高い場所と判断され、従来の防雪柵では危険であることが判明したため、今回、鉾路管内で初めて斜風対応型の高性能防雪柵が設置されました。

今後は、松林宅付近まで防雪柵を延長する計画となっています。

景観については、ご指摘のとおり、美しい景観を遮っているばかりでなく、壁のように威圧感を感じる人もいます。

道路沿線の農村景観も重要な観光資源であることは十分認識しています。

今後さらに、村としての立場、住民皆さんのニーズをしっかりと北海道に伝えていきます。



美しい風景が見えません



### 障害者雇用への対応は？

障害者の雇用拡大に努力したい！



#### 及川議員

今年4月から障害者雇用促進法の改正がなされ、障害者の法定雇用率が現行の2・1%から2・3%以上に引き上げになりました。取り組みの状況と今後の展開について伺います

#### 大石村長

本村では、本年度は常勤の職員数が若干増加したことにより、法定雇用率に届かない見込みです。新規職員の採用時には、平等に扱っていますが、結果として障害者の採用になっ

ていません。障害者の求人を行い、法定雇用率を満たし、また今後とも法律の趣旨を重んじて、障害者の雇用拡大に努力したい。

#### 臨時職員の時給引き上げは？

法を順守するため適正に対応したい！

#### 及川議員

昨年度に道の最低賃金は、719円に引き上げられましたが、本村の臨時職員の時給は735円で生活保護水準と同じです。

昨今の政治・経済状況は賃金引き上げに向かっており、本村でも引き上げをできないのか伺います。

#### 大石村長

本村の臨時的任用職員は、パート職員等で35名のほか若干名がいます。その時給は、昨年、答申を踏まえ735円に引き上げて、道の最低賃金を上回っています。例年、翌年度の道の最低賃金を見越して改定し、最低賃金が賃金を上回るようであれば法を順守し適正に対応したい。

#### 生活扶助基準の引き下げの制度への対応は？

影響が及ばないようにすることを基本方針に！

#### 及川議員

国は生活保護費の生活扶助基準を、今年8月から3段階で引き下げる方針です。

生活扶助基準の引き下げに伴って影響を受ける制度は、約40制度にもおよびます。要保護者・準要保護者への対応を伺います。

#### 大石村長

独自制度では影響が及ばないよう対処し、自治体の判断が可能な制度は、影響等を十分考慮し、出来る限り影響が及ばないようにすることを基本方針と考えています。

また、就学援助の準要保護者への対応は、自治体の判断ですが、本年度も昨年同様の基準で対応してまいります。来年度の対応は、今後の動きを注視したい。

#### 通学路の交通安全対策は？

道道53号へ歩道の設置を要望し実施予定！

#### 及川議員

昨年、全国の通学路の交通安全に向けた緊急合同点検の実施を通知され、本村でも実施されました。対策必要箇所と進捗状況、今後について伺います。

#### 大石村長

通学路の安全点検について調査を実施し、下幌呂小の通学路の対策を道に要望し歩道設置をすることに了解を得ました。次に進捗状況ですが、歩道設置区間は、風林CC入口から鉦路CCまでの区間で、今年度は歩道設置の本工着手まで実施し、来年度に舗装工事を行い事業完了となる予定です。

今後も、村として悲惨な交通事故を未然に防ぐべき対応を進めていきます。



歩道もないのに危険

## 鶴居村の定住対策は？

一定程度の実績を得られた！



全国各地でさまざまな対策が実施されていますが、鶴居村の定住対策について伺います。

吉田議員

村の定住対策への取り組みの下幌呂「夢の杜団地」、中幌呂「分譲地」は79区画のうち9割が売れ、残り数区画の状況です。

ただ「購入者の6割以上が60代以上の退職世代」と新聞報道され、今後は働き盛りの世代の転入者増も図るべきであり、4期目の分譲を検討すると新聞報道されましたが内容を伺います。

また白老町では定住対策として子育て世帯を対象に、住宅を建設すれば土地代は「白老町が持ちます」など、

大石村長

現在まで72区画の販売実績は、道内外から70世帯、およそ200名程度の居住実績です。新聞報道による内容は一部間違いであり遺憾です。購入者の世代構成は20代から50代は89%、60代以上の退職者世代は11%となっており、働き盛り世代の定住促進には、一定程度の実績を得られたと認識しています。

質問の白老町のような、特定の条件下の施策は現在取り組む考えはありません。今後の対策は、未販売区画の解消も含め定住対策事業の推進に努めたい。またこれまでの実績から下幌呂地区の公用地内に新分譲を検討しています。

## ポイ捨て防止対策を？

不法投棄防止対策に取り組みます

吉田議員

毎年恒例に行われるごみ拾いでは、空き缶、ペットボトルを始め様々なごみが捨てられている状況には呆れてしまいます。

日本で最も美しい村連合に加入している本村は、環境美化としても村民一斉クリーン作業を行い、各団体や小中学生も実施しています。

また不法投棄防止対策と



広範囲にわたる村内を常に不法投棄の監視を行う事は難しく、通行車輔の不法投棄を常に監視する有効な手立てが無いのが現状です。

今後も取引業者への要請も含め各種施策を通じ、各世代に対する啓発事業を行なっていきます。関係機関との連携を図りながら、不法投棄防止に向けた取り組みを進めていきます。

して各種工事などの事業実施業者や村内外の取引業者との契約時に、不法投棄防止の取り決めを交わすなど、不法投棄防止対策を強化するべきと思いますが、考えを伺います。

大石村長

不法投棄が発見された場合には随時の回収作業を、不法投棄が懸念される場所へは不法投棄禁止看板の設置など対応していますが、



NO! ポイ捨て



「村づくり懇話会」に期待します！

協働の村づくりを広める機会にします！



大津議員

大石村長は、平成25年度の執行方針で「共に考え・行動する村づくり」について、「協働のまちづくり」を進めるため、第4次総合計画の推進や美しい村づくりの実現のため、村内の団体や有識者ならびに村民からなる組織を新たに設置し、「仮称 村づくり懇話会」の実施に向け取り組むこの方針が示されています。そこで、具体的な内容と2ヶ月過ぎています。進捗状況を伺います。

大石村長

これからの村づくりは、これまでも増して、村政に対する村民一人一人の理解と協力が不可欠であり、地域や行政、そして住民が責任と行動を分担し合い、相互に村づくりのための活動を支えあうことが最も必要であると考えます。



一人でも多くの意見を

今までは違った角度から、より地域住民との身近な懇談の中で、第4次鶴居村総合計画との整合性を保ちながら、一層、村づくりへの関心を高め、協働の村づくりを広めていく機会を設けたいと考えています。

年内の実施に向け、検討を重ねている段階です。

自治基本条例の制定を！

必要性も含め検討してまいります！

大津議員

地方分権の時代を迎え、「自己決定・自己責任」によるまちづくりへと、自治体運営の仕組みが大きく変わってきています。

そのような変化に対応し、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるためには、村民一人一人がまちづくりに参加する意識を持ったうえで、村民どうしがともに

自立し、対等な立場でそれぞれが役割を果たす協力関係を構築すべきです。

今回、役場の機構改革が行われ、「適正規模の課の設置と係の配置」「時代に合った分掌事務の見直し」が行われるようですので、この機会にぜひ自治基本条例の制定を行っていただきたいと思いますが、考えを伺います。

大石村長

自治基本条例は、地域課題への対応やまちづくりを誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくのかを文章化したものです。条例の構成は、まちづくりの方向性と将来像、首長や議会議員の義務・責務、住民や業者の責務、住民参加の手続きおよび住民投票の仕組みなどからなるものが多いようです。

第4次総合計画には、住民が自ら村づくりに参画す

る、いわゆる協働のまちづくりができる体制の構築が必要とあります。

自治基本条例は、この住民参加や村民協働の仕組みづくりを明文化したものです。今後、慎重に他市町村の事例を参考にしながら、必要性も含めて検討したいと考えています。



村民協働の仕組みづくり



# 委員会活動報告

## 総務常任委員会（閉会中の継続調査）

- 事項 ① 議会の活性化について
- ② その他総務常任委員会所管に関する事項について

## 産業常任委員会

- 事項 ① 鶴居村観光の現状について
- ② その他産業常任委員会所管にかかわる事項



初委員会

## 議会運営委員会

6月6日に6月定例会の日程などについて協議をしました。

# 議員派遣について

## 1. 北海道町村議会議員研修会（P16～17参照）

- 期間 平成25年6月26日～28日の3日間
- 派遣議員 全議員 9名

## 2. 北海道町村議会広報研修会

- 期間 平成25年8月20日～21日の2日間
- 派遣議員 広報委員 4名

# 議員が参加した諸行事



運動会



植樹祭



共進会



北部消防40周年



# 生かそう 研修・視察

## 北海道町村議会議員研修会報告

6月27日に札幌コンベンションセンターにて北海道議員研修会が開催されました。

はじめに元鳥取県知事で民主党時代には総務大臣も努められた、慶応義塾大学教授の片山善博さんから「議会改革に期待する」をテーマに講演を受けました。



片山教授は、自分自身が知事るときに不思議だと感じた行政の中の常識が、今でもまかり通っていて、特に学校教育現場での教師の多忙化が引き起こしている、

色々な事件について例をあげて説明していました。

議会のチエック機能の充実を

特に滋賀県大津市での「いじめ問題」を発端とする児童の自殺事件は、教員、学校、教育委員会という組織がほとんど機能していない、そこから見えてくる内部隠蔽体質や無責任論などの危険さを指摘していました。また、教育委員の選任に関しては議会の人事承認案件であり、もっと議会のチエック機能を十分に活用すべきであるとの提案がありました。

さらに片山教授はアメリカの地方議会の現状にふれ、日本のように首長が答弁することはまれで、ほとんどが公聴会に現場当事者を呼んで議論し、最終的に議会

が承認する方式とのことでした。

次に、複数の政党で事務局を担当していた政治アナリストの伊藤惇夫さんから「今後の政局・政治展望」の講演を受けました。

伊藤さんは参院選後の実質経済の回復実感と、TPP交渉の非関税障壁に関して、公約通りに特例5品目が国際舞台で通用するかどうか、安倍政権の長期政権運営に影響を与える指摘していました。



伊藤惇夫氏







# よりよい町づくりのために

## 視察 富良野マルシェ

### フランド・マルシェ

ふらのまちづくり株式会社  
が運営する「フランド・マルシェ」は、  
経産省の「中心市街地  
活性化法（TMO法）」  
の事業として、富良野  
市中心部にあった医院  
転居用地を再開発した  
施設で、「地元の食文化」  
を楽しむための空間で  
あり、「まちの情報発信  
基地」となっています。  
にぎわいを取り戻し  
た成功例として全国的  
に注目されています。



本田浩司 氏



鶴居にも欲しい情報発信基地

### 北海道箱根牧場

通年でツアーや修学旅行  
生に対応している千歳市に  
ある体験型の観光牧場です。  
バター造りやチーズ造り  
が体験できます。



多くの人で賑うマルシェ



観光ビジョンに入れてほしい体験型牧場



北海道箱根牧場



# どうなった!?

## 婚活事業



まずは出会いから

### 23年12月 定例会

**問** 本村も少子化が進んでいます。そこで村内の若者に鶴居発の婚活事業として、新たな支援策を検討できないか伺います。

**答** 村が実施している結婚対策事業は農業後継者を対象としていません。村内の若者全体を対象としたものは、専門知識を持った民間企業に任せるのが望ましいと考えています。

**結果**

25年2月に村内の一般男性を対象とした婚活事業を行いました。今年度も開催します。

(P5参照)

### 24年6月 定例会

**植樹祭事業**

**問** 今回で19回目の村の植樹祭が6月1日に、中学生など60名の参加で行われました。しかし、今まで植樹したものが広範囲にわたって、エゾシカの食害により枯れています。植えた苗木を守る対策が必要と考えますが、考えを伺います。

**答** 植樹祭は平成6年から「村民の森」で行い、エゾヤマザクラ2、420本の植樹をしています。エゾシカの食害から守るために、今回、電気柵を設置する予算を計上しました。今後、植樹地や植樹木の検討もしたいと考えています。

**結果**

「村民の森」に電気柵を設置しました。今年はサッカー場横で植樹祭を開催しました。



食害の心配はありません



力を合わせて植えたのに

# 追 跡

# レポート

# あの提言は 一般質問は

## 機 構 改 革

**結果**  
6月定例会にて「事務分掌条例の制定」がなされ、10月1日から新しい体制がスタート

### 24年12月 定例会

**問** 村長の執行方針の中で、適切な組織の検討をしたいと思います。実施時期を伺います。

**答** 25年10月1日から新しい体制をスタートしたい。

### 23年6月 定例会

**問** 平成22年の6月定例会で機構改革の質問をしました。住民課の体制を早急に考えたいとの答弁でしたが、まだ体制は変わっていません。現在の状況を伺います。

**答** 3月の予算委員会で「住民課だけでなく、将来を見すえた機構改革を行うために、あと1年程度の時間をいただきたい。」との答弁をしました。24年は村長の任期満了の年なので、実施時期を明確にできません。

### 10月1日からの機構改革に伴う各課の名称

振興課 → 企画財政課  
住民課 → 住民生活課  
          ↳ 保健福祉課  
産業課 → 産業振興課  
総務課と建設課は変更なし

教育委員会は管理課と生涯学習課を教育課に統合する。



分課して住民サービス向上



つるい議会だより

平成25年7月30日発行

138号

編集

北海道鶴居村議会  
広報調査特別委員会

085・1203  
0154・64・2116

鶴居村鶴居西1・1

## 村議会の動き

- 5月
- 9～10日 道東4地区管内町村議会議長会連絡協議会
- 12日 釧路北部消防事務組合創立40周年記念事業
- 17日 釧路町村議会議長会
- 24～25日 全道町村議会議長会理事会
- 26～29日 全国町村議会議長会・副議長研修会
- 31日 第2回臨時会
- 6月4日 植樹祭
- 5～6日 全道町村議会議長会総会議会運営委員会
- 6日 議会運営委員会
- 10日 北方領土復帰期成同盟釧路地方支部理事会・総会
- 12～13日 第2回定例会
- 20日 広報委員会
- 26～28日 全道議員研修会  
鶴居村議会視察研修
- 7月5日 北部消防議会臨時会
- 8日 釧路林活議連
- 9日 広報委員会
- 16日 広報委員会
- 26日 広報委員会  
納涼まつり

## 「ダイエット？」 野菜ソムリエ 瀬川 貴志



先日、野菜ソムリエということで、ダイエットの相談を受けました。「最近、野菜中心の生活をしています。甘い物や揚げ物は控えています。」ということでした。

野菜を摂ることは健康のために大事なことです。では、甘い物といえばなんといっても砂糖ですが、砂糖は太る原因なんですか？砂糖の消費量は昭和40年代と比べて現在は約半分になっているのです。しかし、肥満、糖尿病患者の数は年々増えているといわれます。「体によくない」と言われる砂糖は効率よいエネルギー源で脳や体には必要なんです。

油分も全くとらないのはいかがでしょうか。ビタミンの中には油溶性のものもありますし、摂らないことで肌はカサカサになってしまうでしょう。摂り過ぎはよくありませんが、適度には摂りたいものです。

そもそも肥満は、「消費するエネルギー量」に比べて「摂取するエネルギー量」が多いと起こります。結局のところ、私たちは便利、楽な生活を求めた結果、体を動かさなくなったということでしょうか。

最近、テレビ、雑誌、インターネット等から様々な情報が入ってきます。中にはあまり検証されていない、あいまいな情報もあるでしょう。私たちはそういうとき、今一度冷静になってゆっくり考えてみるべきです。

最後になりましたが現議員の任期も半分を経過しています。村政においても重要な判断、決断が待っているかもしれません。そのときには是非大胆且つ、適切な判断を期待しています。

6月8・9日に村内の小学校の運動会が開催されました。地区によっては、中学校や自治会と一緒に開催していました。

議員も各学校に分かれて参加をし、松井宏志議員と及川満浩議員のように競技に参加して親睦を深めてきました。



**広報調査特別委員会**

委員	委員	副委員長	委員長
松井	及川	佐藤	大津
洋和	満浩	吉人	泰則



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。